

幸世の歌



今年の枝幸町の流水初接岸は1月29日でした。
写真は左上が1月29日乙忠部海岸、右下が1月30日神威岬



JA宗谷南

2019NEN
2GATUGOU
~SEASON68~



新規就農本格稼働 川上牧場

昨年、北海道農業公社農場リースを活用し音標地区に新規就農された川上雅弘さん、沙織さんが12月末までに初妊牛60頭の導入が完了し本格稼働となりました。今は毎日おとずれる分娩に悪戦苦闘の連続の中、頑張っている様です。今後はさらに拡大し、搾乳牛80頭を目標にしております。

川上さんからのコメント

「私たちが就農する為に多くの皆様に誠心誠意ご尽力頂き、無事就農することができ、関係各位、地域の方々に謹んで感謝申し上げます。まだまだ未熟な経営者ですので、これからもアドバイスなど頂くことも多くあると思いますので、ご指導のほどよろしくお願いいたします。

ご結婚おめでとうございます



平成30年9月、風烈布米内牧場後継者の琢哉さんと、かねてより交際の彩奈さんがめでたくご結婚されました。

初めて出会った時、彩奈さんは、琢哉さんの事を酪農家とは思わなかった事、自分の抱いていた農家のイメージと違うので驚いた事を振り返り、今は元々動物も好きだった事もあって、楽しく酪農家生活を送っていると嬉しそうに話してくれました。
将来は子供は二人ほしい事と、妻の為に繋ぎ牛舎用の搾乳ロボットを導入を考えるなど夢を熱く語ってくれました。



平成30年11月には、歌登志美宇丹地区の大塚悟さんが千恵さんとめでたくご結婚されました。

悟さんと千恵さんの出会いは、枝幸町ハッピーロマンの会主催の婚活パーティーで知り合い、悟さんからの熱烈なアプローチにより交際がスタートし、2年の交際期間を経て結ばれました。

千恵さんは、結婚前沼田町の地域おこし協力隊の職員で、悟さんの人柄、優しさに惹かれ、結婚に至ったことを明かしてくれました。
悟さんは、今後は家族・兄弟で盤石なスタイルを確立し、やりがいのある環境を作り、経営をしたいと希望を語ってくれました。

JA宗谷南女性部新年会



1月25日、歌登グリーンパークホテルにてJA宗谷南女性部の新年会が行われました。来賓には、JA宗谷南向井地組合長と西澤営農部長、宗谷農業改良普及センターから藤井さんと渡邊さんが出席しました。新年会では、関係機関のアドバイスを頂きながら、女性の力で枝幸町酪農を盛り立てられるよう今年の活動について話し合ったり、昨年の活動の思い出話に花が咲きました。またビンゴゲームも行い大いに盛り上がり、今年の活動の活力を蓄えました。

JA宗谷南青年部新年会



乾杯の挨拶をする寺前参事

1月30日に、JA宗谷南青年部の新年会が、たやで行われました。今年には盟友10名が集まり、来賓の寺前参事より、近年の農業情勢などの話や、昨年は自然災害が多く全国的に農業に多大な被害がでた年であったと話し、今年は、災害もなく豊穡の年である事を祈念し乾杯の挨拶としました。宴会では、農業情勢や将来の展望など情報交換を行い大いに盛り上がりました。

枝幸幼稚園で食育



2月7日、枝幸幼稚園で青年部による食育の為に紙芝居が行われました。紙芝居は、「みんなのミルクジャパン」という題材で生乳生産を通じ、子供たちに食の大切さを伝え、考えてもらうのが趣旨です。盟友、関口さんの演技力もあり、子供たちは真剣な眼差しで紙芝居の世界に引き込まれていました。紙芝居終了後は、みるきいちゃんより牛乳等が配られ、子供たちは終始大興奮でした。今後も酪農を題材にした食育活動を継続し、食の大切さや酪農の素晴らしさを広めていきたいと思っています。

マイナビ就農フェスタ

1月13日、JR新宿ミライナタワーマイナビルームでマイナビ就農フェスタが開催され、枝幸町農業推進協議会（枝幸町役場、JA宗谷南）で出展しました。

今回の就農フェスタでは、全国より就農相談や、農業関係への雇用等に関して15ブースが出展され、約140名の来場客がありました。

枝幸町のブースには、3組の方が来られ、いずれも農業初心者の方々に、畑作と畜産とで自分に出来る農業を模索中でした。その中で1組の夫婦が枝幸町での酪農に興味を示され、酪農の作業体系や就農時の資金等について熱心に質問されており、一度枝幸町で搾乳体験をしてみたいと語ってくれ、当ブースを後にしました。



一時期に比べ就農イベントの来場客が漸減しており、農業者担い手不足に拍車がかかっている中、人材確保の手段として就農イベントへの参加は大変有意義に感じました。枝幸町でも多くの農業者が増えてくれるよう就農イベントには継続参加していきます。

宗谷農業出前授業

1月30日、宗谷総合振興局主催の宗谷農業出前授業が枝幸高校で行われ、4Hクラブから佐藤良介さん、後藤亮介さん、宗谷南酪農ヘルパー利用組合の伊藤胡桃さんの3名が講師として枝幸町の農業について授業を行いました。

佐藤良介さんは、「地域農業の紹介」として、クイズ形式で枝幸町の農業を紹介しました。後藤亮介さんは、「酪農の魅力」と題し、自分が就農した経緯と後藤牧場の一日の流れと年間スケジュールを紹介した後、酪農は、家族と経営が出来る事と自分の思うような経営が出来る事が魅力であると話されました。

伊藤胡桃さんは、「地元の農業関連職業の紹介」として、枝幸町での農業に係わる職業を、職業別に作業風景写真で分かりやすく紹介し、最後に自分がたずさわる酪農ヘルパーという仕事がいかに素晴らしいかを伝え、出前授業は終了しました。



活発な質問で賑わう枝幸高校の生徒たち



酪農ヘルパーの素晴らしさを伝える伊藤胡桃さん

えさし流氷フェスタ2019



2月17日、「えさし流氷フェスタ2019」が、枝幸保育所前の特設会場にて開催されました。

今年は、雪が降る中の開催となりましたが、多くの来場者で賑わいました。

JA宗谷南青年部活動で、乳飲料(牛乳・ミルク苺)の無料配布を行い、青年部・4Hクラブの部員が一つ一つ丁寧に手渡して配布し、すぐ終了するほどの人気でした。

来年も多くの方の参加を予定していますので、皆様方のご支援、ご協力をお願い致します。

組合員資格確認のお願い

宗谷南農業協同組合

当JA定款規定により、組合員加入申込時の提出書類事項に変更があった場合や、組合員資格に変動等があった場合は、その旨を届けてもらうことになっています。

つきましては、組合員資格・氏名・住所・電話番号等の届出事項に変更・修正があった場合は、当JA本・支所窓口へお申し出いただきますようお願い致します。

【当組合の組合員資格】

1 正組合員資格

- (1) 5ヘクタール以上の土地を耕作する農業を営む個人であって、その住所又はその経営に係る土地若しくは施設がこの組合の地区内にあるもの
- (2) 1年のうち150日以上農業に従事する個人であって、その住所又は、その従事する農業に係る土地又は施設がこの組合の地区内にあるもの
- (3) 農業を営む法人（その常時使用する従業員の数が300人を超え、かつ、その資本の額又は出資の総額が3億円を超える法人を除く。）であって、その事務所又はその経営に係る土地がこの組合の地区内にあるもの

2 准組合員資格

- (1) この組合の地区内に住所を有する個人で、この組合の事業を利用することが適当と認められるもの
- (2) この組合から事業に係る物資の供給又は役務の提供を継続して受けているこの組合の地区内に勤務地を有する個人であって、引き続きこの組合の事業を利用することが適当であると認められるもの
- (3) この組合から事業に係る物資の供給又は役務の提供を継続して受けているこの組合の地区外に住所を有する個人であって、引き続きこの組合の事業を利用することが適当であると認められるもの
- (4) 農事組合法人等この組合の地区内に住所を有する者が主たる構成員となっている団体で協同組織のもとに当該構成員の共同の利益を増進することを目的とするものその他この組合又はこの組合の地区内に住所を有する者が主たる構成員又は出資者となっている団体であって、この組合の施設を利用することが適当であると認められるもの

※ 当組合の目的地区は、北海道枝幸郡枝幸町一円の区域とする。

僕達・私達は小学生になります



左:阿部 竜輝 君 右:澤田 健生 君

リュウキ ケンセイ
阿部 竜希 君(父:秀樹)・澤田 健生 君(父:和人)

4月から歌登小学校へ通う二人は、大の仲良しで写真撮影の時も手をつないで歩いていました。小学校にいったら給食が楽しみですと、二人揃って答えてくれました。



石田 純一郎 君

ジュンイチロウ
石田 純一郎 君(父:秀樹)

4月から歌登小学校へ通う、明るく元気な純一郎君は、今からバス通学が楽しみです、毎日わくわくしています。



玉村 悠月 ちゃん

ユツキ
玉村 悠月ちゃん(父:勇司)

4月より乙忠部小学校に通う悠月ちゃんは、今から小学校に行くのが楽しみな様子です。お父さんは小学校でもたくさんの友達と遊んで楽しんで小学校生活を送ってほしいと思っています。



孫 梓丞 君

ソン アズヒロ エイ
孫 梓丞 君(父:勲)

来年、音標地区に就農する事となった孫勲さんの長男である梓丞君は、4月から音標小学校に入学します。いつも笑顔の梓丞君にお父さんは、知識は邪魔にはならないので基礎知識をしっかりと学んで、元気よく成長してほしいと願っています。

経年草地に石灰と堆肥の散布を！

草地土壌は年々酸性

土壌が酸性化すると 土の世界は

- ☆ 土壌微生物も住みにくくなる
- ☆ 根が衰えて肥料を吸いにくくなる
- ☆ 低収量、低嗜好
- ☆ 古い根が腐植化されないでルートマットができやすい

石灰散布

酸性を矯正すると

- ☆ 根が活性化し、肥料を吸いやすくなる
- ☆ 土壌微生物が増え、活性化する
- ☆ ルートマットが腐植化され土壌養分となる
- ☆ マメ科草が増加
- ☆ 高収量、嗜好性向上

堆肥散布

更に堆肥散布すると

- ☆ 腐植、土壌微生物の増加で土壌の保水力・通気性向上
- ☆ 根域が深くなり、干ばつに強くなる
- ☆ マメ科草が増加
- ☆ 高収量

食わせてみれば

- ☆ 牛が喜んでたくさん食う
- ☆ 乳量アップ
- ☆ 牛の故障減少
- ☆ 利益向上

肥料の散布で土壌が酸性化

● 肥料の投入と牧草によるカルシウムなどのミネラル吸収によって土壌は酸性化します。この酸性化は1年間で炭カル約25kgほどに相当します。

pHは6～6.5が正常

● pHが5.5以下になると生物が住みにくくなり、本来腐りやすいはずの植物残さも腐らず蓄積してルートマットを形成します。

酸性土壌で美味しくない牧草

● 当然牧草の根も活力をなくし、吸肥力が衰えます。根が弱れば地上部も不健全になり、美味しくなくなります。収量も低下します。

まずは石灰散布

● 土壌診断値に合わせて石灰資材を散布しましょう。目安は、毎年、炭カル40kg/10a 2年に一度の場合は、炭カル80kg/10aです。注) 散布時期は秋が最善ですが、春でも可能です。

pH矯正で根が生き生き

● 土壌の酸性が矯正されると生物が住みやすくなり、牧草の根も活性化します。収量だけでなく、養分・嗜好性も向上します。今まで分解されなかった植物残さも土壌有機物に腐植化され土壌養分となります。

2トン／10a程度の堆肥散布が目安です

● 堆肥散布は秋が最善ですが、よく腐熟して、ぱさぱさになっていれば時期は問いません。注) 過剰散布に注意願います。

土の生物環境・物理性改善、肥料費節減

● 堆肥を散布すると、土壌生物が増えて土が健全化します。土壌有機物は保水力を高め、土を膨軟にして通気性をよくします。微生物や根の生育環境が良くなり、特にマメ科草の根は空気を必要とします。

● 更新時に深かった牧草の根も年々浅くなり、根域は経年化すると5cm以下に浅くなりますが堆肥を入れることで再び深くなります。

● 堆肥の肥料成分で肥料代が節約できます。根が活性化されているので吸肥力も旺盛です。

食わせて分かる

● 健全な土で育った健全な牧草は乳牛の健康を保つことに役立ちます。

授精所便り

～生菌数・耐熱性菌数削減～



耐熱性菌とは？

- ・低温殺菌(63°C30分)で残存する菌
- ・HTST殺菌(72°C15秒)でも残存

耐熱性菌の問題点

- ・HTST牛乳、チーズ、脱脂粉乳、生クリームなどで菌増殖により風味などに影響
- ・食中毒の原因菌(セレウス菌、ボツリヌス菌)

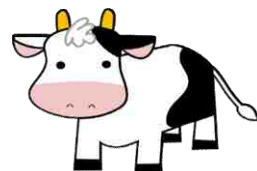
耐熱性菌が増える要因

環境からの汚染

- ・耐熱性菌は自然環境のいたるところに存在
- ・特に土壌、牛床、敷きワラ、牛舎空気からの汚染
- ・汚染飼料、腐敗サイレージの給与

搾乳機器からの汚染

- ・洗浄不良箇所
- ・劣化したゴム類
- ・再使用のソックスフィルター
- ・残乳回収用スポンジ
- ・クォーターミルカー(逆流) など



耐熱性菌削減のポイント

(1) 牛床の衛生

- ・敷きワラをこまめに交換、牛床を乾燥させる

(2) 衛生的な乳頭清拭

- ・乳頭には敷きワラ由来の耐熱性菌が多い
- ・一頭一布、乳頭に水分を残さない(特に乳頭口)

(3) ミルカーの正しい洗浄

- ・毎回のアルカリ洗浄(酸性洗浄前)
- ・酸性洗浄の頻度(最低4日に1回:濃度1.0%)
- ・ゴム部品の交換(ライナー、ホース、パッキン)

(4) その他の汚染要因

- ・クォーターミルカー、盲乳キャップ、ろ過紙、残乳 など

洗剤

(1) 塩素化アルカリ洗剤

- ・主に乳脂肪、乳蛋白質、一部無機質を落とす
- ・毎回搾乳後、直ちに使用

(2) 酸洗剤

- ・カルシウム、マグネシウム、鉄などの無機質を落とす
- ・2日に1回、または4日に1回(洗剤は2倍)

まとめ

生菌数が増えるには何らかの原因が必ずあります。生菌数が高くなってきたときは、洗浄方法・洗浄手順は適切かどうか、搾乳機器(消耗部品・ボイラーなど)の点検・交換、搾乳手順の見直しを実践し、安心して美味しい牛乳生産を目指しましょう。



浦高森滝川野村
谷本川口合澤田
正等忠直直隼太
憲幸也樹希

編集
委員

